

令和7年度 横浜市保育・教育施設職員等研修 実施要領

目的	保育・教育施設職員等研修について効果的な研修を実施し、市内保育・教育施設の質の向上を目的とする。		
対象者	横浜市内の保育・教育施設に勤務する方（職種は不問）		
研修名	全10研修（Zoom研修 / 13:30～16:30の3時間） ※保育士等キャリアアップ研修ではありません ①乳児保育研修 ②幼児教育研修 ③リスクマネジメント研修 ④コミュニケーション研修 ⑤ミドルリーダー研修 ⑥子育て支援研修 ⑦実習指導者研修 ⑧こどもの人権に配慮した保育研修 ⑨保育士等のセルフマネジメント研修 ⑩こどもの性を考える ※各研修は、保育所・地域型保育事業の職員処遇改善費の研修修了要件の対象研修に、認定こども園・幼稚園の 処遇改善等加算区分3(旧・処遇改善等加算Ⅱ)及び職員処遇改善費の研修修了要件の対象研修になります。		
申込方法	研修ホームページからお申込みいただきます（ホームページに研修申込マニュアルがありますのでご参照ください）。		
申込の流れ	①施設マイページ登録 ⇒ ②受講者登録 ⇒ ③研修の申込み ⇒ ④受講確定		
申込期間	6月30日(月)10:00 ～ 7月11日(金)17:00 （受講確定：7月18日(金)12:00）		
研修費用	無料（受講時の通信費・テキスト印刷費用については自己負担です）		
修了証	講義を受講＋修了レポートを提出された方に発行いたします。遅刻・早退・修了レポートが未提出の場合は修了とは認められません。 発行時期は令和8年2月下旬です。施設マイページからダウンロード可能となります。修了証の再発行はできませんので、期限内に ダウンロードして大切に保管してください。 ※ダウンロード期限：令和8年3月31日(火)（郵送はいたしません）		
注意事項	・研修の申込みは施設マイページから行っていただきます。個人での登録・申込みはできません。 ・Zoom研修には、カメラ付きの機器が1人1台必要です。 ・定員を超えた場合は、抽選となります。受講の可否は、7月18日(金)12:00にマイページでご確認ください。 ・定員に満たない研修があった場合は、追加募集を実施いたします。実施する場合は、研修ホームページで発表いたします。 個別にお知らせはいたしませんので、ご了承ください。		
問い合わせ先	株式会社ポピンズプロフェッショナル 令和7年度横浜市保育・教育施設職員等研修係 〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-6-6 TEL：03-3447-5826（平日9:00～17:00） 研修HP：https://poppins-education.jp/kenshu-yokohama2025/ ※当事業は横浜市から委託を受け、株式会社ポピンズプロフェッショナルが運営いたします。		研修 HP 

研修スケジュール ※保育士等キャリアアップ研修ではありません

No.	研修名	1回目	2回目	研修内容	講師	対象者	定員
1	乳児保育研修	9月18日(木)	12月4日(木)	・こどもの人権を尊重し、主体性を大切にした保育の実践 ・保育の基本 ・保育所保育指針、幼保連携型認定子ども園教育・保育要領	昭和女子大学人間社会学部初等教育学科 准教授 遠藤 純子	①横浜市内の保育・教育施設に従事する職員全員 ②概ね経年数 1 ～ 5 年の職員	150名/回
2	幼児教育研修	8月13日(水)	12月1日(月)	・子どもの人権を尊重し、主体性を大切にした保育・教育の実践 ・保育の基本 ・保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領 ・小学校との連携、架け橋プログラム	日本女子大学家政学部児童学科 教授 請川 滋大	①横浜市内の保育・教育施設に従事する職員全員 ②概ね経年数 1 ～ 5 年の職員	150名/回
3	リスクマネジメント研修	9月3日(水)	1月9日(金)	・子どもの人権を尊重した保育の展開 ・不適切保育の定義と予防のための方法 ・「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」 ・安全な保育・教育環境を確保するための考え方 ・個人情報に関する取り扱い	環太平洋大学次世代教育学部こども発達学科 講師 小崎 遼介	横浜市内の保育・教育施設に従事する職員全員	300名/回
4	コミュニケーション研修	8月28日(木)	12月5日(金)	・組織マネジメントの基本 ・子どもと子どもにかかわるすべての人の人権を尊重した保育と環境づくり ・同僚性を育み、対話が生まれる職場作り ・人材育成のためのコミュニケーション ・多職種と協働の必要性 ・保育・教育の質の向上への取り組み	㈱川原経営総合センター 神林 佑介	①横浜市内の保育・教育施設に従事する職員全員 ②概ね経年数5年以上の職員	150名/回
5	ミドルリーダー研修	10月2日(木)	1月22日(木)	・子どもと子どもにかかわるすべての人の人権を尊重した保育と環境づくり ・同僚性を育み、対話が生まれる職場作り ・子どもの可能性に触れる保育者としての喜びと共有 ・語り合いが生まれる記録 ・互いの良さを生かしあう同僚性 ・人材育成のためのコミュニケーション、働きやすい職場作りの基本	東京家政大学家政学部児童学科 教授 佐藤 康富	①横浜市内の保育・教育施設に従事する職員全員 ②概ね経年数5年以上の職員	150名/回
6	子育て支援研修	9月10日(水)	1月28日(水)	・子育ての現状や課題の理解 ・子育て支援における保育・教育施設の機能と役割 ・子どもや保護者に関わる専門職としての役割 ・関係機関との連携・地域資源の活用	東京立正短期大学 准教授 鈴木 健史	横浜市内の保育・教育施設に従事する職員全員	150名/回
7	実習指導者研修	10月23日(木)	1月16日(金)	・保育士不足の現状と次世代育成の意義と課題 ・養成校との協働による職員の資質向上 ・保育実習の具体的指導の基本	東京立正短期大学 非常勤講師 村山 久美	①横浜市内の保育・教育施設に従事する職員全員 ②概ね経年数5年以上の職員	150名/回
8	こどもの人権に配慮した保育研修	10月3日(金)	1月15日(木)	・子どもの人権、児童虐待、不適切保育の定義 ・子どもの人権にかかわる法律など(「保育所等における虐待等の防止及び発生時の対応等に関するガイドライン」含む) ・自身の保育を振り返り、自身の保育に意識を向け、子どもにとって適切で、より良い関わりや保育実践	鎌倉女子短期大学 初等教育学科 教授 竇川 雅子	横浜市内の保育・教育施設に従事する職員全員	300名/回
9	保育士等のセルフマネジメント研修	8月1日(金)	1月27日(火)	・子どもの人権に配慮した保育 ・児童虐待、不適切保育の定義 ・子どもにとってより良い関わりや豊かな保育実践 ・保育士等のアンガーマネジメントを含むセルフマネジメントの具体的方法 ・同僚性を育み、対話が生まれる職員集団作り	大阪教育大学 教授 小崎 恭弘	横浜市内の保育・教育施設に従事する職員全員	150名/回
10	こどもの性を考える	8月20日(水)	12月15日(月)	・性と人権 ・性犯罪・性暴力の被害の現状と対策 ・包括的性教育、「生命（いのち）の安全教育」 ・保育・幼児教育の現場での取り組み事例	宇都宮大学 共同教育学部 准教授 長 香織	横浜市内の保育・教育施設に従事する職員全員	300名/回

- 研修形式：Zoom研修（オンラインで受講できる環境をご用意ください。）
- 研修時間：13:30-16:30 （受付開始：13:00、オリエンテーション：13:15-13:30）

【 注意事項 】
※1回目・2回目の内容は同一です。いずれか都合の良い日を選択して受講してください。
※パソコンなどカメラ付きの機器1台につき1名でのご参加をお願いいたします。
1台で複数名の受講はできません。